

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編)
第 2 章 機械設備工事
第2節 配管工事

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

名 称 : 配管施工関連

1. 全般

- 亜鉛めっき管の現地溶接は、再めっきとするが、監督職員の承諾があれば、内外面に高濃度亜鉛塗装をしたか。(塗装なら施工中の写真が必要)
- 必要箇所にドレン管を設けているか。
ドレン管は側溝まで延長されて側溝の流れ方向に吐き出しているか。
- 必要箇所に空気抜き管を設けているか。弁は分岐近くで手の届く位置に設けられているか。
- 埋設配管には埋設標、または配管標識シートを設置したか。
- 動線上の配管に踏台(安全表示付き)が設置されているか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(突き出し調整の切断面の処置はしたか)
- 架台間等の渡り配管・電気ケーブル等では、耐震や不等沈下対策がとられているか。
- バルブに(開閉・調整)札を取り付けたか。
- 鋳鉄管等に異種管を接続する場合は電蝕防止対策を行ったか。
- ステンレス配管の溶接部は、内外面共、酸洗いを行ったか。
- 各種配管接続後のルート毎に漏洩・気密・耐圧確認を行ったか。
- 配管フランジ部分を操作盤・電動機等の上に設けていないか。

2. 塗装

- 指定色が塗布されているか。
- 配管類の塗装膜厚記録を作成しているか。
- 配管名称、流れ方向を記入したか。